

令和元年度
厚生労働行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究

研究分担者 水越 美奈 日本獣医生命科学大学獣医保健看護学科臨床部門 教授

研究要旨

補助犬の衛生管理に関して代表的な育成事業者ヒアリング調査を行い、現状と問題点を抽出したところ、事業者や使用者により明確に衛生確保をしてもらうためには現行のガイドラインを改定する必要があることがわかった。

身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究のうち、「使用者や訓練事業者の衛生管理」を担当

A．研究目的

補助犬法の施行 17 年が経過しているが補助犬の質および管理状況にはばらつきがあると指摘されている。先行研究では「身体障害者補助犬の衛生確保のための健康管理ガイドライン」が取りまとめられているが、使用しづらいという指摘もあるため、まずは補助犬の衛生管理の実態と現状を把握することを目的とした。

B．研究方法

代表的な補助犬育成事業者（日本盲導犬協会・日本介助犬協会・日本聴導犬推進協会）にヒアリングを行い、衛生管理に関する現状と問題点を抽出した。また現行のガイドラインと現状、一般的な家庭犬における衛生管理を文献調査し、比較した。

C．研究結果

現行のガイドラインは現状と沿っておらず、ほとんど使用されていないことがわかった。また事業者はより具体的な記述を求めている。

D．考察

現行のガイドラインは平成 13 年度に作成されて

いることもあり、現状とそぐわない点も多くみられることから改定を行なう必要があると考えられる。ただし SFTS など、今後も新しい人獣共通感染症が出現する可能性があるため、その度に対応できる柔軟なガイドラインにする必要がある。また事業者用使用者用と分けて作成するのが望ましいと考えられる。

E．研究発表

該当なし

F．知的財産権の出願・登録状況

該当なし